



赤い羽根福祉基金 第10回助成記念成果報告会 登壇者プロフィール

全体進行

**金田 晃一さん NTT データグループ サステナビリティ経営推進本部
シニア・スペシャリスト**

ソニー涉外部通商政策課、在京米国大使館経済部、ブルームバーグテレヴィジョン・アナウンサーを経て、1999年以降、ソニー（再入社）など5社にてサステナビリティ経営を推進。内閣府「新しい公共」円卓会議構成員、日本経団連・社会貢献担当者懇談会座長、日本NPOセンター理事などを歴任し、現在は、国際協力NGOセンター理事、赤い羽根福祉基金運営委員を務める。

プログラム①「報告とセッション」

上野谷 加代子さん 同志社大学 名誉教授

大阪市立大学家政学部社会福祉学科、同大学院家政学研究科社会福祉学専攻修了。研究テーマは地域を基盤としたソーシャルワークの展開方法（論）と教育方法。日本地域福祉学会元会長、日本福祉教育・ボランティア学習学会元会長、「広がれボランティアの輪」連絡会議会長、大阪市ボランティア・市民活動センター所長、大阪府をはじめ豊田市（愛知県）、精華町（京都府）、東近江市（滋賀県）、都城市（宮崎県）、松江市（島根県）地域福祉計画策定委員会委員長、等で活躍。民生委員・児童委員については「民生委員・児童委員の活動環境整備に関する検討会」（厚生労働省）座長を務めた。モットーは「清く、正しく、美しく、そして朗らかに」。赤い羽根福祉基金運営委員長を務める。

永山 晴子さん デロイト トーマツ グループ ボード議長

1994年現・有限責任監査法人トーマツ入社後、大手総合商社などの会計・監査業務、ASBJ専門委員会委員などを務め会計基準の開発業務に従事。執行役経営企画本部長、デロイト トーマツ合同会社及び有限責任監査法人トーマツ（以下、デロイト トーマツグループ）の評議員を経て、2022年7月にデロイト トーマツ グループボード議長就任。社会貢献活動として、赤い羽根福祉基金運営委員、30% Club Japan Chairを務める。

菊池 亮さん 社会福祉法人 釜石市社会福祉協議会 事務局次長

釜石市社会福祉協議会事務局次長兼地域福祉課長

1994年バブル崩壊と父の急逝をきっかけに、地元に戻り社会福祉協議会に入職。

NPO法人いわて地域福祉育成会代表幹事等ボランティア活動や生活資金貸付相談業務などを経て、介護保険事業所の設置・運営に従事。東日本大震災における数々の経験は社協職員として思考・行動の軸となっている。

福田 浩之さん　特定非営利活動法人 アイキャン 事務局長

フィリピン大学大学院にて地域開発学を専攻する傍ら、認定 NPO 法人アイキャンの駐在員として、10 年間にわたりフィリピンの路上の子どもたちとともに地域開発、災害支援や平和構築事業に従事する。2023 年より事務局長に就任し、岐阜県美濃加茂市・可児市を拠点に、外国籍住民を対象とした相談支援・地域づくり・参加支援を実践。海外と日本、双方の現場で「当事者の力を引き出す支援」を大切に活動している。社会福祉士。

野田 詠氏さん　特定非営利活動法人 チェンジングライフ 理事長

2000 年より、教会の空室等を利用して、行き場を失った若者等の受入れを開始。2011 年に大阪保護観察所の受託事業「自立準備ホーム」。2018 年児童自立援助ホームを開設。司法、福祉領域において、制度内外で若者の再出発を応援している。大阪府薬物乱用防止指導員。法務省播磨学園教諭師。

プログラム②「パネルディスカッション」

和田 敏明さん　ルーテル学院大学 名誉教授

全国社会福祉協議会で理事・事務局長、ルーテル学院大学大学院社会福祉学専攻主任教授などを歴任、社会福祉への住民参加の実践推進と研究を行ってきた。日本地域福祉学会名誉会員、日本福祉教育・ボランティア学習学会名誉会員。赤い羽根福祉基金審査委員長を務める。

西田 修一さん　LINE ヤフー株式会社

執行役員・サステナビリティ推進 CBU リード

2004 年ヤフーに入社。Yahoo! JAPAN トップページの責任者を務め、ヤフー初となる Yahoo! JAPAN トップページの全面リニューアルを指揮。また、東日本大震災の復興支援と検索を掛け合わせたキャンペーン「Search for 3.11 検索は応援になる。」を立ち上げる。検索事業本部長を経て、2017 年 4 月より現職。赤い羽根福祉基金運営委員を務める。

北村 千章さん　特定非営利活動法人 親子の未来を支える会 理事

新潟県立看護大学大学院看護学研究科修士課程修了。清泉女学院大学看護学部 小児期看護学 教授。障がいや病気のある子どもたちが大人になった時に、居場所を持ち自立するために必要な支援体制を目指して、研究活動に取り組んでいる。特に、医療的ケアの必要な子どもたちが、できるだけ生きづらさを感じないで成長できるような環境の整備と、重度な医療的ケアがあっても教育を受けるために必要な、学校看護師の人材育成にも取り組んでいる。

中島 かおりさん　認定特定非営利活動法人 ピッコラーレ 代表理事

第 2 子の出産をきっかけに助産師を目指し、その後病院や助産院で助産師として働く。妊娠から出産、子育てを継続的に伴走する助産師でありたいと地域で活動する傍ら、認定 NPO 法人ピッコラーレ(旧：一般社団法人にんしん SOS 東京)の運営に代表として携わる。